



DNW-24027 の概要

課題名 : 抗リン脂質抗体症候群に対する血栓症治療薬の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

保田 晋助 (国立大学法人東京科学大学大学院医歯学総合研究科)

ステージ : 標的検証前期

【標的疾患】

抗リン脂質抗体症候群、特に劇症型抗リン脂質抗体症候群及び血栓性微小血管障害症に伴う血栓症

【創薬標的】

抗 β 2GPI 抗体あるいは抗リン脂質抗体

【創薬コンセプト】

抗リン脂質抗体の認識部位を欠きプラスミンなどのプロテアーゼ耐性となるよう遺伝子改変したリン脂質結合タンパク質 X による、抗リン脂質抗体症候群に伴う血栓症治療薬

【ターゲットプロダクトプロファイル】

抗リン脂質抗体症候群及び血栓性微小血管障害症において、出血等の副作用がなく血栓症の超急性期における治療・進展抑制あるいは再発を予防する注射剤

【モダリティの設定】

タンパク質

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) 抗リン脂質抗体症候群自然発症モデル動物を用いた急性期血栓症モデルにおいて、タンパク質 X は血栓発症をほぼ完全に抑制した。
- 2) タンパク質 X は健常人全血を用いた試験において、活性化凝固時間を延長させなかった。

【科学的、技術的な優位性】

PI らが独自に作製したタンパク質 X は新規性があり、さらに安定化を目指した構造改

変が可能である。

【支援ステージにおける目標】

抗リン脂質抗体症候群モデルを用いて、タンパク質 X が出血等の副作用を示さずに抗血栓作用を有することを検証する。

【関連特許】

出願済み

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。